

松任谷由実さんは、 「決議 23-34」を 意識していた説。

国際ロータリー第 2580 地区
2024-25 年度ガバナー

石川 彌八郎



9月18日東京葛飾東 RC 公式訪問にて

先月はルーブル美術館の「カナの婚礼」のことを書きましたが、その後の公式訪問で、聖書持参でお出迎え頂いた会長さんがいたのには感激しました。さて、ガバナー公式訪問を重ねています。そのクラブには、どのような方が在籍しているのか。訪問前に会員名簿に目を通します。皆さんの職業はそれぞれですが、資格をお持ちの方が散見されます。税理士、医師、弁護士、会計士、等々。中には45歳で社労士の資格をお取りになった方もいました。皆さん、勉強を重ね合格なさったのでしょうか。一方この僕はというと、大した資格は何も持っておりません。せいぜい運転免許ぐらいです。

レイモンド・チャンドラーという作家がいます。シカゴ出身、1888年生まれ。ポールハリスは1868年生まれなので、もしかしたら交流があったかもしれません。そんな彼は「タフでなければ生きていけない、優しくなければ生きる資格がない」という言葉を残しています。「生きる資格」。前述の通り僕は大きな資格は持ってはいませんが、「せめて生きる資格ぐらいは待つ

ていなければ」と思ったのです。そんな悩みを解決してくれたのがロータリーだったのです。「優しくなければ生きる資格がない」。「優しい」の意味の中には、「あまい」「ゆるい」「厳しさが足りない」というマイナスイメージも含まれます。そこで原文を調べたら、チャンドラーは「優しい」を「gentle」で表現していました。

「gentle」を辞書で調べると、「寛大・寛容・思いやりがある」と語釈されていました（旺文社コンプリヘンシブ）。そうです。チャンドラーは「タフでなければ生きていけない、寛容で、思いやりがなければ生きる資格がない」と言っていたのです。「僕はロータリーに救われた」、その意味の輪郭が、また更に濃くなってきたのです。「gentle」には違う意味もあります。大修館書店の「ジーニアス」を開くと、「gentle」の原義:「同じ種族の」→「よい家系の」→「育ちの良い」とありました。「gentle」は「well born」「家柄の良い」「生まれの良い」という意味もあるのです。「家柄が良い・生まれの良い」は⇒「お坊ちゃん」⇒「世間知らず」にもつながります。「Gentle」つまり「寛容」が「世間知らず」にならないように気を付けなくてはならないのです。「tough」も気を付けなくてはならない言葉です。大修館書店の「ジーニアス」では「tough」は③で（精神的に）たくましい。（肉体的に）丈夫な。



ナンバープレートに注目！
石川酒造の配達用のトラックです。尚、「大多摩ハム」は僕が社長を務めている福生のハム屋です。

と語られています。しかし⑧では、(人が)「乱暴」「粗暴」「頑固」「扱いにくい」のマイナスの意味も語られています。「gentle」も「tough」も、よい意味も悪い意味もあるので、「gentleでtoughな人」は、「優しくて粗暴な人」「寛容で頑固な人」あるいは「ゆるくて厳しい人」という矛盾した解釈も成り立ちますが、このトレードオフと云うか、ジレンマの中に我々は生きているのだと感じました。この渦巻の中にいる



葛藤とともに生きている人生を、よく考えて理解し、妥協(※1)する生き方を見つけるのがロータリーだったのです。ゆえに「僕は、ロータリーに救われた」のです。松任谷由実さんは1978年に「流線形‘80」と

いうアルバムを出しました。A面の二曲目に「埠頭を渡る風」のいう曲があります。その歌詞の一部です。

もうそれ以上

もうそれ以上

やさしくなんて しなくていいのよ

いつでも強がる姿 うそになる

「優しさ」と「強がり」のジレンマ、つまり、「gentle」と「tough」のジレンマ。

我々はその渦中で生きている。これはつまり、「奉仕したい」と「儲けたい」のジレンマなので、決議23-34なのです。はい、以上が「松任谷由実さんは、決議23-34を意識していた説」でした。さて、松任谷由実さんを知らない会員は少ないでしょう。しかし、決議23-34を知らない会員は、特に最近入会したには方は多いかもしれません。ここで、各会長さんにガバナーからのお願いです。そんな会員さんがいたら、決議23-34に触れる機会を作ってください。みんながみんな、詳しく勉強しなくても結構です。「ロータリーの歴史の中で、そんなこともあった」程度で結構です。もう、100年以上前のことです。そして、興味を持つ会員がいたら、もう少し深く調べてもらえばいいのです。宜しくお願いします。さて、ここからが「四つのテスト」です。チャンドラーが書いた「優しい」の原文は「gentle」でした。原文で読むと感ずることがあります。「四つのテスト」も同じです。会長の皆さんも「四つのテスト」の原文を、辞書を引きながら読んでみてください。何か感ずること

がありますよ。さて、先月の予告では今月の解説は「好意と友情を深めるか」「Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP?」なのですが、そのカギは「GOODWILL」の訳にあると書きましたが、実はこの文章の解釈のカギは「and」にもあったのです。「and」の意味は単純に「と」だけではないのです。大修館書店のジーニアスではまるまる2ページを「and」の説明に費やしています。それに気づいたのは、先日、東京王子ロータリークラブの訪問時、岡 秀一職業奉仕委員長が活動計画に記していた「四つのテスト」を読んだ時です。

- ①真実かどうか → うそや偽りでないか
- ②みんなに公平か → すべての取引先に公平か
- ③好意と友情を深めるか → 信用を高め、取引先を増やすかどうか
- ④みんなのためになるかどうか → すべての取引先に利益をもたらすかどうか

着目は、③の訳が単純に、「AとB」と訳していないことです。

この「and」は「結果を導くand」で「Aの結果Bとなった(が生まれた)」と解釈すべきでしょう。

例えば

He was very tired and went to bed,
を訳して考えてください。

Andが導くのはtiredの結果のwent to bedなのです。あるいは、「不随、付属のand」で考えることもできます。「bread and butter」は、「パンとバター」ではなく、「バター付きのパン」で「AとB」ではなく、「Bが付いたA」、主体はAなのです。そうすると「友



情付きの信用」となります。なかなか面白いですね。来月は、もう少し深く考えてみましょう。お楽しみ、乞うご期待。もう一つ、ガバナーからのお願いです。松任谷さんの「埠頭を渡る風」の歌詞ですが、

一番は

もうそれ以上

もうそれ以上

やさしくなんて しなくていいのよ

いつでも強がる姿 うそになる

二番は

もうそれ以上
 もうそれ以上
 やさしくなんて しなくていいのよ
 いつでも強がる姿 好きだから
 二番は「強がる姿 好きだから」
 で終わっているのです。
 この歌詞は「gentle」と「tough」の妥協(※1)を語っ
 ていたのです。
 ロータリー的に考えると、その妥協とは
 一番
 もうそれ以上
 もうそれ以上
 やさしくなんて(寄付なんて) しなくていいのよ

.....
 いつでも強がる(欲張る)姿 うそになる
 二番
 もうそれ以上
 もうそれ以上
 やさしくなんて しなくていいのよ

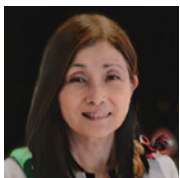
 いつでも強がる(頑張る)姿 好きだから
 僕は立場上、「強がって、頑張って、230ドル寄付して
 ください。」と言わなくてはならないので、無責任な言
 い方かもしれませんが、「そうすればきっと、好きな人
 から好かれますよ。」上手に妥協してください。

 ※1 妥協:「利害や意見が対立しているとき、お互い
 にゆずりあっておだやかに決着をつけること」(明鏡国

 語辞典 第三版)

当地区全クラブの会長プロフィールを順次掲載しています。

—「隔たりを取り除き“ご縁”を大切に」なさってください。—



富田 すゑ子

所属：東京葛飾中央

私の出身高校では、全校での合唱コンクールがありました。先生方の指導はなく、生徒の自主性に任せられた課外活動で、私は3年間指揮者をやりました。1年のときは「翼を下さい」をクラスで選曲し、間奏をハーモニカの独奏で演出しました。自由への飢餓感を哀愁あるハーモニカが表現し、全校でも特別賞を頂きました。東京葛飾中央ロータリークラブで毎年開催している「ゆめコンサート」では、「BELIEVE」をテーマ曲とし、エンディングでは出演者全員がステージで心一つにして歌います。僭越ながらその指揮もやらせていただいて早三年。一発本番の難しさはありますが、たった一日のお付き合いでありながら出演の子供たちの成長を感じ、心踊る瞬間となっています。



茂木 正光

所属：東京板橋セントラル

板橋生まれ、板橋育ちです。板橋区立の小学校、中学校に通いました。仕事は行政書士、司法書士です。外国人のお客様からのお仕事が増えています。そのような中、板橋区に住む外国人の子どもの日本語学習ニーズがあるのではないかと仮説を立てました。ロータリークラブのつながりにて板橋区役所にお問い合わせしたところ、区立の小学校、中学校の各クラスほとんどに外国人の子どもがおり、ニーズがあることがわかりました。母校である中学校が日本語学習の拠点となっていました。ご要望に応じてポータブル自動翻訳機を贈呈しました。母校に恩返しことができました。ロータリークラブのおかげで、自身の仕事から感じた仮説を奉仕活動へと実現することができています。



高橋 雅美

所属：東京練馬中央

.....
 【自己紹介】昭和33年10月8日生まれ 天秤座A型 ロータリークラブ入会2016年練馬に生まれ練馬で育ち立教中学校、立教高校、立教大学と池袋に10年間通学しました。現在、立教学院評議員を務めていますが、評議員の中にも数名のロータリアンがいらっしゃって大変嬉しく思っております。【仕事】家業であります株式会社越後屋(精肉小売、卸売、レストラン業)の代表として、日々奮闘中です。【家族】妻、息子2人嫁2人孫(2歳半男子)2人の8人家族です。【趣味】旅行ですが、特にハワイ大好き人間です。1972年に初めて旅行して以来35回位は訪ハしています。ホノルルでの国際大会が今から楽しみです。



海江田 健司

所属：東京お茶の水

2019年7月に入会しロータリー歴5年の若輩である私がこの度会長を拝命し身の引き締まる思いでございます。諸先輩方々の実績と行動力により昨年度クラブ設立30周年を迎えました。更に魅力あるクラブとなるべく一生懸命努力してまいりますので会員皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

従来より継続しております千代田区という地域に根差した奉仕事業の維持及び発展と国際奉仕活動を実践していきます。また、会員の皆様が心からクラブ活動を楽しんでいただくことによって自然と外部から見ても魅力的なクラブとなるように尽力したいと思います。それにより会員増強にもつながることが理想です。

会員の皆様一人一人が充実したクラブライフを送っていただけるよう努めてまいりますので何卒よろしくようお願い申し上げます。



宮下 真

所属：東京紀尾井町

私は東京都府中市で生まれ、現在は中野区で賃貸物件を中心とした原状回復工事、リノベーション工事、不動産管理、売買、仲介、リノベ再販等をしている会社を経営しております。高校時代までは野球で甲子園を目指していたにも関わらず、趣味はサッカー観戦です。今も大学でプロを目指して頑張っている一人息子のプレーを見ることが人生最大の喜び楽しみであり、生きがいでもあります。私は2012年にロータリークラブに入会させて頂きました。早いもので12年になりますが、この間で会員の皆様と関わらせて頂く様々な活動により、自分自身本当に大きく成長をさせて頂いたと感じ大変感謝しております。私にとってロータリーは、まさに「人間形成道場」です。



大澤 一隆

所属：東京江戸川中央

私は弁護士として仕事をしております。趣味は剣道と大相撲観戦です。剣道の方は、最近では月に一度くらいしか面を付けての稽古ができず、昇段審査からも足が遠のいてしまっていますので（現在の段位は五段）、何とか稽古回数を増やしたいと思っております。大相撲観戦の方も、国技館まで行くことはほとんどなくなりましたが、細々と武蔵川部屋（元横綱武蔵丸の武蔵川親方の部屋）の応援をしております。好きな曲はLUNASEA（ルナシー）の楽曲全般です。中学・高校時代のバンドブームで好きになりましたが、今も聞く音楽の9割方はLUNASEAの曲です。このような私ですが、一年間よろしくようお願い申し上げます



堀 恵介

所属：東京ワセダ

当クラブは2580地区初の女性会員を有するクラブとして1994年にスタート、今年で30周年となります。私はチャーターメンバーで2回目の会長となります。仕事は、伊勢丹、高島屋などデパートを中心に写真スタジオを運営し、ご家族の思い出に刻まれる写真等を撮影・提供しています。音楽を聴く事は一番の趣味で、ジャンルを越えて聴きますが、ライブで好んで聴くのはブルックナーの交響曲です。その他、ロマン派の室内楽・ロシア音楽等、運転している時に良く聴きます。

その他趣味としては、健康の為のゴルフ、変わった所では、野草（雑草）を観察する事が好きです。写真業界の仕事等で海外にはよく行きますが、最近では昨年、ロータリーの仲間たちで行ったモンゴルの自然の風景がとても印象に残っています。

映画はよく見ます。最近では邦画で「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」を見て泣きました。テレビの大河ドラマ「光る君へ」も毎週楽しみに見えています。

ロータリーは、仕事内容は違っても比較的近い社会的立場にあるメンバー同士が集まり交流し、無理の無い範囲で奉仕活動を行える素晴らしい場です。これからも宜しくお願い致します。



佐藤 大輔

所属：東京臨海

1972年に東京都江戸川区で生まれました。1930年に祖父が創業した株式会社サトー印刷の3代目です。地元の企業や官公庁の仕事をしております。地元の公立小中学校を卒業後、高校も地元の関東第一高校に進学し、大学も家から一番近い千葉商科大学に行きました。地元から出ることなく外の世界を知らずに育った3代目のバカ坊ちゃんにとりまして、ロータリークラブは経営者として一人の人間として最高の学びの場となりました。尊敬する人は東京臨海RCの鈴木孝行会員です。経営はもちろん、人としての大切なものを沢山教えていただきました。あの人からの教え無くして今の私はあり得ないと断言できます。これから自分が後輩にどれだけのことができるのが今後の私の課題です。



鈴木 孝親

所属：東京臨海東

20代のころはIT関係のエンジニアをやっており、30歳の時に父の会社（産業廃棄物収集運搬および処理業）に入りました。産業界のことは全くわかりませんが、子供時代に贅沢させていただいた分できることをやらせてもらおうと考え、経理から財務、総務事務まで担当しています。なんでも自分でやってみたくなる性分で、最近では刈払機で草刈りをしてみたり、高圧洗浄機で石垣を洗ってみたり、鉄板を溶接したりして遊んでいます。飛行機が嫌い、あまり遠くへ行くのは好きではありませんが、学生時代に1年ほどアトランタに留学していたこともあり、2017年の国際大会でアトランタに行ったのが大変懐かしく、記憶に残っている旅行です。

第2580地区クラブ数・会員数

2024年9月30日時点 クラブ数 73RC
 正会員数 3060名（内女性 332名・10.85%）
 9月の入会者数 10名（内女性 1名）
 9月の退会者数 8名（内女性 1名）
 9月の増減数 63名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 7回 宇津木奈保美 【東京ワセダ】
- 7回 松田 賢基 【浦添】
- 5回 中島 弘人 【東京ワセダ】
- 3回 大関 健一 【東京西北】
- 3回 成瀬 英治 【東京新宿】
- 2回 藤井 武彦 【東京西北】
- 2回 井部 秀恭 【東京西北】
- 2回 渡辺 和久 【東京お茶の水】
- 2回 齊藤 四方司 【東京ワセダ】
- 1回 加藤 光晴 【東京西北】
- 1回 戸栗 修 【東京西北】
- 1回 濱子 仁博 【東京ワセダ】

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

- 1回 光行 順子 【東京一ツ橋】
- 1回 光行 順子 【東京一ツ橋】
- 1回 喜納 朝勝 【浦添】

米山功労者・マルチプル

- 9回 大谷 昌義 【東京新宿】

ポール・ハリス・ソサエティ

- 山中 直樹 【東京新都心】

10月7日まで 敬称略、順不同

謹んで哀悼の意を表します

東京足立 RC
 清水正雄（しみず まさお）会員
 逝去日 2024年10月6日 91歳
 入会日 1976年11月26日
 （有）菊栄 社長
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者マルチプル
 米山特別功労法人